



# やらまいか

クラブテーマ：参加して、行動して、ロータリーを楽しむ Let's Enjoy Rotary

会長/大木健市 幹事/林 博宣 会報委員会/中西弘徳・宇野秀幸 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所  
事務局/豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第32回 通算1516回 平成30年2月27日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	2/13 修正出席率
		66名	38名	62.3%	93.4%

ゲスト：命にやさしいまちづくり ハーツ 代表 古橋幸子さん 藤城裕子さん ビジター：(なし)

## ★会長あいさつ

### 大木健市会長



こんにちは。オリンピックも色々な話題、問題を残しながらあっという間に閉会しました。テレビ等のマスコミは、選手の

競技とは無関係な些細な事を誇大、拡大、誇張して選手をタレント化するように報道が目についたように感じました。次はパラリンピックです。選手の皆さんのご健闘をお祈りしたいと思います。

国際ロータリー会長のイアン・ライズリー氏から、4月22日のアースデーまでに会員一人一人が1本の植樹をしましょうと言う要請がありました。私たちは、豊川平和公園(仮称)にソメイヨシノを植樹し、その他数百本の木々を植樹させて頂きました。これにより、この要請に変えたいと思っております。先日、国際ロータリー本部のグローバル・コミュニケーションズという所からメールが入りまして、我々の植樹活動を国際ロータリーの公式日本語ブログに掲載した旨の連絡がありました。我々のこの活動が、イアン・ライズリー会長の目に留まり、記事として載せて頂く事は誠に嬉しく思っています。今後の展開がどうなるかということも大変楽しみにしています。

本日の例会は、杉浦節子会員の紹介で古橋幸子さんに「東三河のらネコ解決法」という

テーマで卓話を頂きます。先週2月22日は、ニャンニャンニャンということで“猫の日”でした。タイムリーな卓話に拍手です。ちなみに、2月10日は“フートンの日”でした(笑)

最後に、地区から縦山修一会員に次年度RYLA副委員長の委嘱状が届いております。縦山会員には、地区への出向ありがとうございます。



## ★幹事報告

林 博宣幹事

例会臨時変更のお知らせ  
次回例会のお知らせ  
日台ロータリー親善会議出席の件

## ★外部講師の卓話

「東三河のらネコ解決法」

命のやさしいまちづくり ハーツ

代表 古橋幸子さん

私たちは、動物愛護団体ではなく、市民団体として環境、そして命を守るためのまちづくりを目的とした



団体です。このような話は、とてもマイナーでなかなか話をさせて頂ける機会が少ないです。お声を掛けて下さいました杉浦さんに感謝です。機会を設けて頂いてありがとうございます。

最初に私どもの会の紹介をします。2002年12月に立ちあがりました。元々は個人で活動していた人たちが、協力し合おうと言う事で集まりました。私は40年ほど前に豊橋に来て、この東三河の野良猫の多さにびっくりしました。これは何とかしなければいけないと言う事で、1人で動いていたのですが、1人で動くには限界がありました。仲間と一緒に会を作ったのが、このハーツという市民団体です。このハーツというのは、人の心のハートと動物の命、この複数形でハーツという名前になりました。会員とサポーターを入れて、現在50名程のメンバーが活動をしています。

活動内容は、捨てる猫〇、殺処分〇、虐待〇を目指して、地域ネコ活動を中心に行っています。野良猫問題相談会や猫の譲渡、猫を手術するために捕まえる捕獲器の無料貸し出し、アドバイスなども行っています。毎日ブログで活動報告をしていますので、「ハーツ猫」で検索すると出て来ます。宜しければ見て下さい。

動物の引き取りはしておりません。私たちはシェルターを持っておりませんが、これは活動中に自分たちが見つけて、見過ごせない猫たちを保護しているシェルターです。引き取りや預かりは、原則行っておりません。

「猫捨て場」という言葉を聞いたことはありますか？これを調べてみたら、東三河特有の言葉の様です。他にはありません。東三河には、昔から猫捨て場という言葉がありました。今もあります。子猫が生まれると、この地域では猫捨て場に捨てに行くか、川に流すと言う習慣があったと言われていました。今でも、それはあるそうです。実際に、東三河には20か所近い猫捨て場があります。

猫捨て場は、皆さんのお宅の近くにもあるのかもしれませんが。野良猫は社会問題になるほど増えています。元は捨てる猫です。飼い猫の避妊手術をしないで、生まれた猫を捨ててしまっ、それが野良猫になって増え、餌だけを与えて手術をしないで放置している人たちも多いので、それでどんどん増えています。

野良猫は迷惑な存在で、餌やりは悪い事、無関心、排除したい、色々な人がいます。毎

日どこかで、猫の餌やりによってトラブルが起きています。トラブルの中には、殺傷事件が起きているのが現状です。

猫の殺処分数は、愛知県は何十年も日本一でした。10年ほど前に全国で20万匹だったのが、平成27年度は6万7千匹まで減って来ました。なぜ減ったのかは、殺処分数の多さが問題になって、この数を減らそうとして行政が引き取りを制限しました。引き取りが制限されたから、猫を増やさないようにするのではなくて、猫を捨てたのです。捨てたり、餌だけあげて外に出したりする方が増えたので、殺処分数は減りましたが、捨て猫と野良猫は増えています。ですので、実態は以前より悪くなっている訳です。

豊橋市の保険所への苦情は、平成27年度、野良猫問題だけで1,000件あります。殺処分や管理のために、県への委託費用が、豊橋市は年間1,300万円使っています。動物の問題は、愛知県の動物保護管理センターが担当をしています。豊川市の場合の窓口は、環境課です。環境課に相談をするのが良いのですが、環境課がちゃんと機能していない状況なので、動物保護管理センターも困っているような話を聞いています。

東三河では、今のところ豊橋市だけ年間50万円の野良猫の去勢手術の地域猫助成金が出ています。

野良猫の増え方は、1匹が1年で79匹になります。1匹の猫が1度に4~6匹の猫を生みます。生まれた6匹のうち半分がメスだとすると、1年間で79匹になります。外にいる猫が、この数字にならないのは、外で生まれた猫の8割が死んでしまうからです。ですので、死ぬために生まれてくる猫が、どれだけ多くいるかは、これが現状なのです。

行政は、捕獲駆除することにはしていません。猫は愛護動物として認定されて保護されています。ですから、捕まえることは出来ません。特に野良猫を捕まえて捨てに行くとなら犯罪になります。

野良猫を増やさないためにはどうするか。猫の飼い主が、まず責任ある飼い方をする事。飼い猫に不妊去勢手術をすること。これはオスもメスも両方です。飼い猫の室内飼いを徹底して、行方不明にしないこと。猫を捨てないこと。最後まで責任を持って飼うことです。

地域猫は、環境省が推奨して全国に広がっ

ています。地域猫というのは、地域住民が主体となって、野良猫の不妊去勢手術を行った後、適切な餌やりをしたり、掃除をしたりして管理をして減らし行くことです。全国的に行われていますし、もうこの方法しか野良猫を減らす、増やさないといい方法はありません。結果としては、猫が減っていく、発情の時のうるさい声が減る、糞尿の量や匂いが減る、ゴミをあさらなくなる、といった良い結果になります。減るためには時間が掛りますが、この方法しかありません。

犬や猫は、動物愛護法に愛護動物として明記されています。犬や猫を捨てると100万円以下の罰金、虐待は100万円以下の罰金、殺したり傷つけたりした場合は2年以下の懲役または200万円以下の罰金になります。これは所有者の有無に関わらず、野良猫でも適用されます。犯罪になりますので、見つけた場合には、直ぐに警察に連絡をして下さい。

愛知県からは、「所有者のいない猫の適正管理マニュアル」が出ています。地域猫活動のことが書かれており、皆さんに知って頂きたい大事な事です。

餌をやるなど昔から言われてきましたが、法律に餌やり禁止はありません。餌やりでトラブルが発生していますが、餌を止めると、野良猫はゴミをあさるようになります。自分の地域から野良猫がいなくなれば良いのではなく、根本的な解決が野良猫を減らすことに繋がります。地域の問題は、地域で解決することです。

「捨て猫ゼロ基金」という募金箱を色んなところに置いて頂いております。募金箱を置いても良いと言う方は、私共にお声を掛けて下さい。

豊橋市内でも自治会長が中心になって、回覧板を廻して、みんなでこの問題に取り組もうとしている地域があります。野良猫が多かったのですが、自治会費から手術費を出して手術をして、野良猫が減って来ました。自治会内の人たちの理解も得られるようになっていきます。

私たちは、クラウドファンディングを利用して、私たちの活動費を集めています。一昨年は255万円の支援金が全国から集まりました。昨年は243万9千円集まりました。クラウドファンディングだけでなく、ハーツのブログを見て、直接口座に寄付を送ってくれる人も増えています。

「78円の命」という作文は、豊橋市立東田小学校6年生谷山千華さんの作文です。第41回豊橋市小中学校・話し方大会の最優秀賞作品に選ばれました。私たちがそれを知って、ハーツのブログの載せましたところ、東京のトップアーティストがクラウドファンディングを利用して本が出来ました。これを豊橋市内の学校に配布して、道徳の授業で活用されています。豊川市でも活用して頂けると有難いです。

豊橋には、在日ブラジル人のご夫妻の家に猫が捨てられて、このご夫妻が猫を保護している家があります。現在320匹程の猫がいます。心無い人たちが、この家に猫を置いて行き、とても大変な状況になっています。昨日から私たちが少しお手伝いをして、クラウドファンディングを始めました。「シャディー保護猫ハウス」で検索して頂き、宜しければご協力を頂ければと思います。

日本は、動物後進国です。東三河には、猫は可愛いと思う人はいますが、実際に行動する人はわずかです。行政もほとんど動いていません。豊橋市がようやく広報に私たちの活動の特集も載せてくれて、いよいよ動き出そうとしています。残念ながら豊川市の行政は、ほとんど動いていません。分かっているのに誰もやらない、困っているのに誰も動かないのが現状です。野良猫を減らすために、一人一人が出来ることを始めて頂きたい。そうしたら私たちの様なボランティアはいらなくなります。毎年、自費と寄付で1,500万円集めて活動をしています。一人一人が動いて頂きたい。その日が来るまで私たちは頑張ります。是非、皆さんのご協力をお願いします。

最後に、「国の偉大さ、道徳的発展は、その国における動物の扱い方で分かる」これはガンジーの言葉です。ガンジーの言葉を皆さんにお伝えしてお話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

命にやさしいまちづくりハーツのブログ

<http://honokunihearts.blog25.fc2.com/>

シャディー保護猫ハウスのブログ

<https://ameblo.jp/shadday-nekonoie/>

## ★ニコニコボックス

近藤哲司会員 誕生日を祝って頂き

会報担当：中西弘徳会員・宇野秀幸会員